



平成 26 年 7 月 17 日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 柳澤哲二
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 取締役業務統括本部長 加藤 淳
(Tel 052-950-7500)

～ 地理空間情報に関わる様々な課題解決を支援する ～
G 空間データ ソリューション センター設立のお知らせ

当社は、来る準天頂衛星時代に向け、地理空間情報のより高度な利活用を支援する
「G 空間データ ソリューション センター」を設立しましたので別紙のとおりお知らせいたします。

以上

2014 年 7 月 17 日

— 地理空間情報に関わる様々な課題解決を支援する —
G 空間データ ソリューション センター設立のお知らせ

アイサンテクノロジー株式会社

アイサンテクノロジー株式会社(愛知県名古屋市、代表取締役社長 柳澤哲二 以下、アイサンテクノロジー)は、来る準天頂衛星時代に向け、地理空間情報のより高度な利活用を支援する「G 空間データ ソリューション センター(以下、GSC)」を以下の通り設立しました

1. 背景

2007 年、誰もがいつでもどこでも必要な空間情報を使い、高度な分析に基づく的確な情報を入手し行動できる「地理空間情報高度活用社会(G 空間社会)の実現」のため、地理空間情報活用推進基本法が制定されました。2018 年の準天頂衛星システム実用化、2020 年の東京オリンピック開催、スマートシティの実現等に向けた様々な取り組みが産学官において実施されており、地理空間情報のより高度な利活用の必要性が高まっています。

2. 目的

アイサンテクノロジーは、30 年以上にわたり測地・測量計算アプリケーションソフトを開発し、継続的に測量法を基準にした位置精度及び空間情報の評価手法等の研究開発を進め地理空間の基礎的位置データを関連法令に適合させる様々な「補正」技術を確立して参りました。準天頂衛星システムによるサブメータ級・センチメータ級の高精度衛星測位の新時代を迎えようとする昨今、皆様の地理空間情報の利活用支援を行うと同時に、多様化する空間情報ニーズに向けた提案・サービスをする事を目的に、GSC を設立いたしました。

日本列島は、4つのプレート境界にあり、年間平均的に数cmにおよぶ地殻変動地域です。1997 年を基準日とする世界測地系導入後 17 年経過しその地殻変動量が1mを超える地域もあり、また 2011 年東北地方太平洋沖地震地域の余効変動は、最近の約 2 年半の間に 70cmにも達するところがあります。準天頂衛星等の活用により、センチメータ級の位置情報が可能になってきている現在、日本列島の地殻変動の適切な処理は、位置情報の品質管理に欠かすことができないものと考えます。

GSC では、こうした G 空間社会の実現に向けて直面する様々な課題の解決を支援することで、地理空間情報の高度な利活用の推進に繋がればと考えております。

3. 提供する支援サービスの概要

GSC では、「衛星測位と地図の位置整合」「3 次元空間情報作成支援」「地図の品質評価」「準天頂衛星利用実証支援」を主たるサービスの柱としてスタートいたします。

各支援サービスの詳細は、別紙をご覧ください。

4. 設立日

平成 26 年 7 月 17 日

5. GSC ホームページ

<http://www.g-spatial.com/>

6. お問い合わせ

■ 〒460-0003

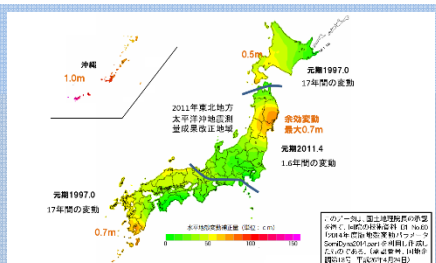
愛知県名古屋市中区錦三丁目7番14号ATビル

TEL 052-950-7500 FAX 052-950-7507

アイサンテクノロジー株式会社

<http://www.aisantec.co.jp>

準天頂衛星時代に向け、アイサンテクノロジーは様々な「G空間」支援を行います



水平地殻変動移動量(期間:元期-2014.0)

衛星測位と地図の位置整合

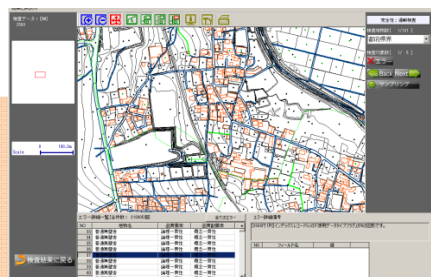
地殻変動の大きい日本では特に、更新した瞬間から劣化が始まる地図と、衛星測位により得られた座標値とは、必ずしも一致するものではありません。測量法に基づく地図であれば、測量法に基づき提供されている変動パラメータ等を使用する手法等にて座標変換を、測量法に準じない場合でも、複数のリファレンス点を設置し、最小二乗法等の最適手法を用いた座標変換により、その差異を最小にします(一部、特許出願中)。



MMS取得データの3Dメッシュ

3次元空間情報作成支援

当社が所有する高精度移動体計測装置MMS(Mobile Mapping System)や3次元スキャナで取得した点群を加工し、空間情報を生成する支援をいたします。これらの空間情報は全て、実計測による高精度な位置座標が付与されており、目的に合わせたデータ形式の提案から、白線・縁石・ガードレール等の、道路地物抽出等も可能です。



品質評価ツール

地図の品質評価

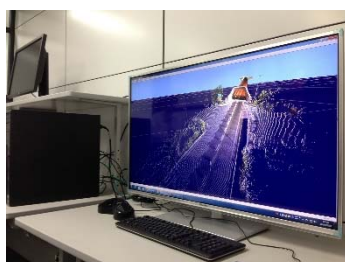
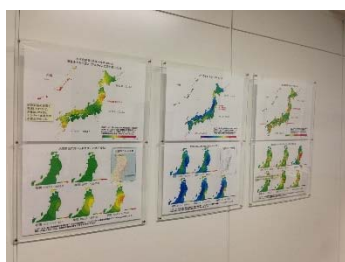
ISO/TC211(国際標準化機構:地理情報専門委員会)を基にした日本国内の地理情報標準JSGI品質基準に基づいた地図評価を行います。具体的には、完全性、論理一貫性、位置正確度、主題正確度に関する検査を行い、作成または使用する地図の品質を数値化いたします。



LEX利用実証風景

準天頂衛星利用実証支援

数年前から、準天頂衛星に関する様々な利用実証の実施と同時に、数多くの利用実証の支援をしており、実証の企画支援からデータの分析評価までを行って参りました。準天頂衛星の新たな補強データを利用する実証実験に必須なアプリケーション[QZSS Prove Tool]の提供等も行い、衛星測位の品質評価を総合的にレポート致します。



詳しくは下記URLをご覧ください。

<http://www.g-spatial.com>